

ボクに少女マンガを。 ワタシにも、 少年マンガを。

「らしさ」って何だろう？

田川先生、教えてください。

たとえば、本屋に並ぶマンガ雑誌。

その色使いや文字の強弱、伝わってくる温度感。

どれが少年向けで少女向けか、

誰もが一瞬で見分けられます。

それは私たちが日常生活の中で、

「男はこう」「女はこう」という

「あたりまえ」に囲まれながら生きているから。

黒いランドセルは男の子、戦隊モノのピンクは女の子。

それが「あたりまえ」なのはなぜ？

日本社会で長い間「そういうもの」と

されてきた、ただそれだけです。

常識や価値観の多様化が進む今、

ひとつの物差しで人や社会を測ることはできません。

いろんな考え方を持ち寄って、何が違うか確かめ合う。

その違いはどこから来るのか、一人ひとりの背景と文脈に目を向ける。

ジェンダーの学びは、そうした視点を養うための入り口。

みんな同じじゃなくていい、わかり合えないままでもいい。

ひとつの答えにたどり着くより、いろんな答えを探し続ける。

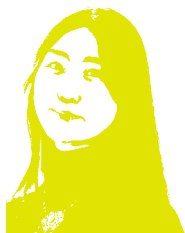
その姿勢はどんな仕事でも、どんな生活でも、

ずっと求められ続けるはず。

私たちはつねに、人と人との違いの間を生きています。



人間科学科
講師 田川 夢乃



和光3分大学

現代人間学部

心理教育学科（心理学専修／子ども教育専修／子ども教育専修 保育コース）

人間科学科

表現学部

総合文化学科／芸術学科

経済経営学部

経済学科／経営学科

TEL: 044-988-1434（入試広報課）

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

【ホームページ】<https://www.wako.ac.jp/>

【メールアドレス】go@wako.ac.jp

異質力で、輝く。

和光大学